

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2010-282158(P2010-282158A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-137740(P2009-137740)

【国際特許分類】

G 03 B 27/62 (2006.01)

H 04 N 1/10 (2006.01)

H 04 N 1/107 (2006.01)

【F I】

G 03 B 27/62

H 04 N 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図1と図2において、指示記号1で示したものは、例えば画像形成装置とも称せられる複写機である。この複写機1は、装置本体2と原稿圧着板3から成り、この装置本体2上のコンタクトガラス4上へ原稿(図示せず)を圧着させるために用いられる本発明に係る原稿圧着板開閉装置5は、とくに図1と図2に示したように、装置本体2の後部上端へ原稿圧着板3の後部を開閉可能に連結せるものである(図1のA)。尚、原稿圧着板3は、図示はしてないが公知構成の原稿自動送り装置付きのものと、そうでないものとの二種類からなり、本発明に係る原稿圧着板開閉装置は、どちらの原稿圧着板にも適用できるものであるが、好ましくは原稿自動送り装置付きでない軽くてそれ自身が中折れするなどして厚物原稿にも対処できるように構成した原稿圧着板開閉装置である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

この原稿圧着板3の閉成状態から、コンタクトガラス4上へ原稿を載置するために、当該原稿圧着板3を開いて行くと、ヒンジピン9を支点に共に回転する支持部材10によって、揺動部11の回転制御手段17を構成するローラ12はスプリングガイド15を介して弾性手段14を若干押し込んで、その上面をスライドして移動し、図6に示したように、原稿圧着板3がコンタクトガラス4、即ち、装置本体2に対して略8°の開成角度になった時に、弾性手段14の中心作用線とヒンジピン9及びローラ12の中心を結ぶ直線が平行となるので、支持部材10はどちらの方向にも回動付勢されない状態になる。さらに原稿圧着板3を開くと、弾性手段14による付勢方向が反転して今度は原稿圧着板3を開成方向へ付勢して、図7に示したように、支持部10bのストッパー部10gが取付部材7の閉塞部8aへ当接するまで開かれる。尚、この8°の開成角度に限定はない。その後、開いた原稿圧着板3は開成方向へ付勢された状態となるので、当該原稿圧着板3は閉成

方向へ自然落下することなく開成状態を保つことになる。この開成角度は実施例のもので略 50°であるが、この開成角度についても限定はない。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

次に、開いた原稿圧着板3を閉じる際には、略8°までの閉成角度までに弾性手段14をローラ12を介して押し込む際の抵抗に遭遇するが、略8°でヒンジピン9とローラ12の中心を結ぶ直線と、弾性手段14の作用中心線が平行となつた以降は、弾性手段14がローラ12を上方の原稿圧着板3を閉じる方向へ押す弾力が作用して、原稿圧着板3は自重と弾性手段14の付勢力により自動的に閉じられる。

【手続補正4】

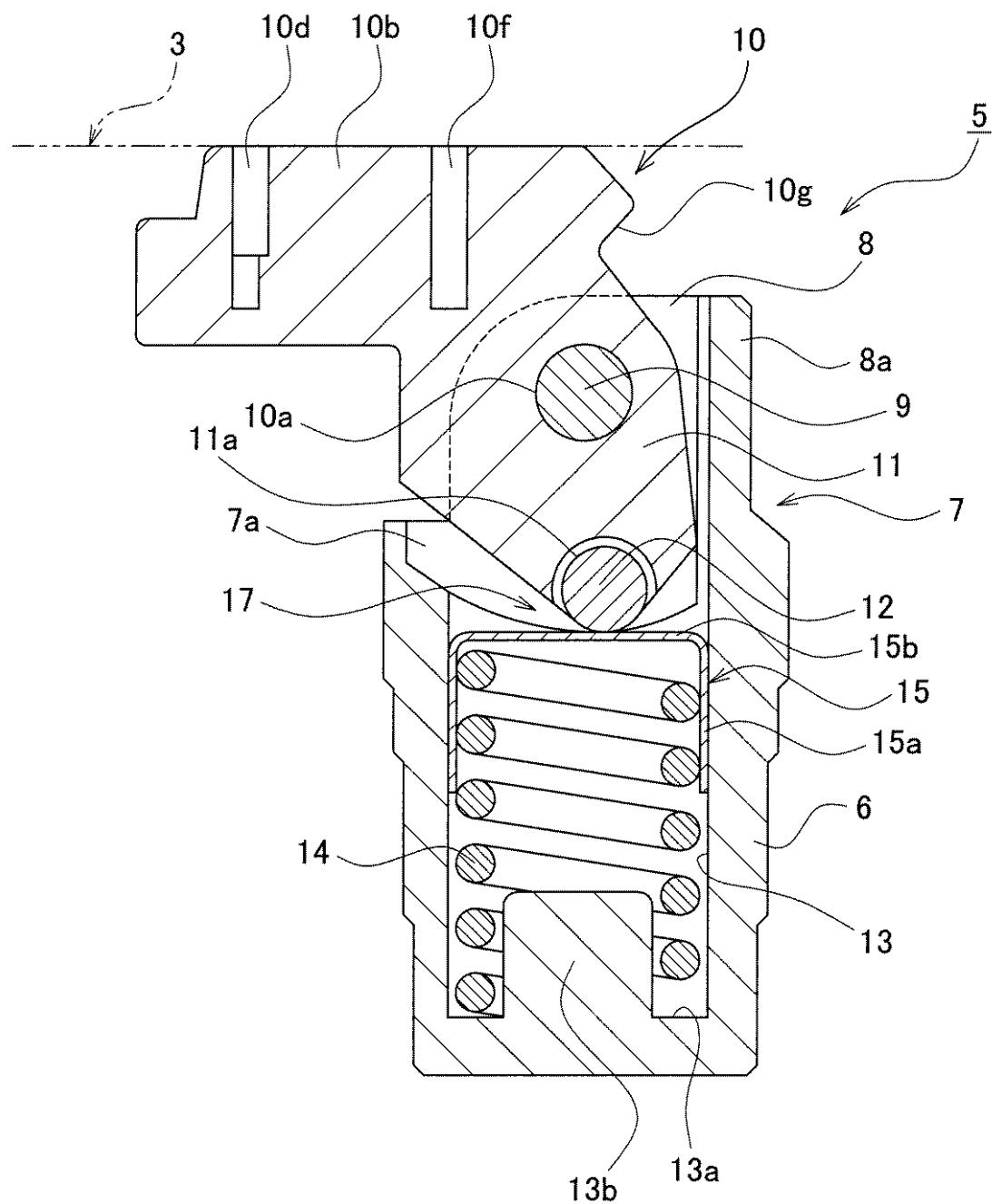
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】



【手続補正5】

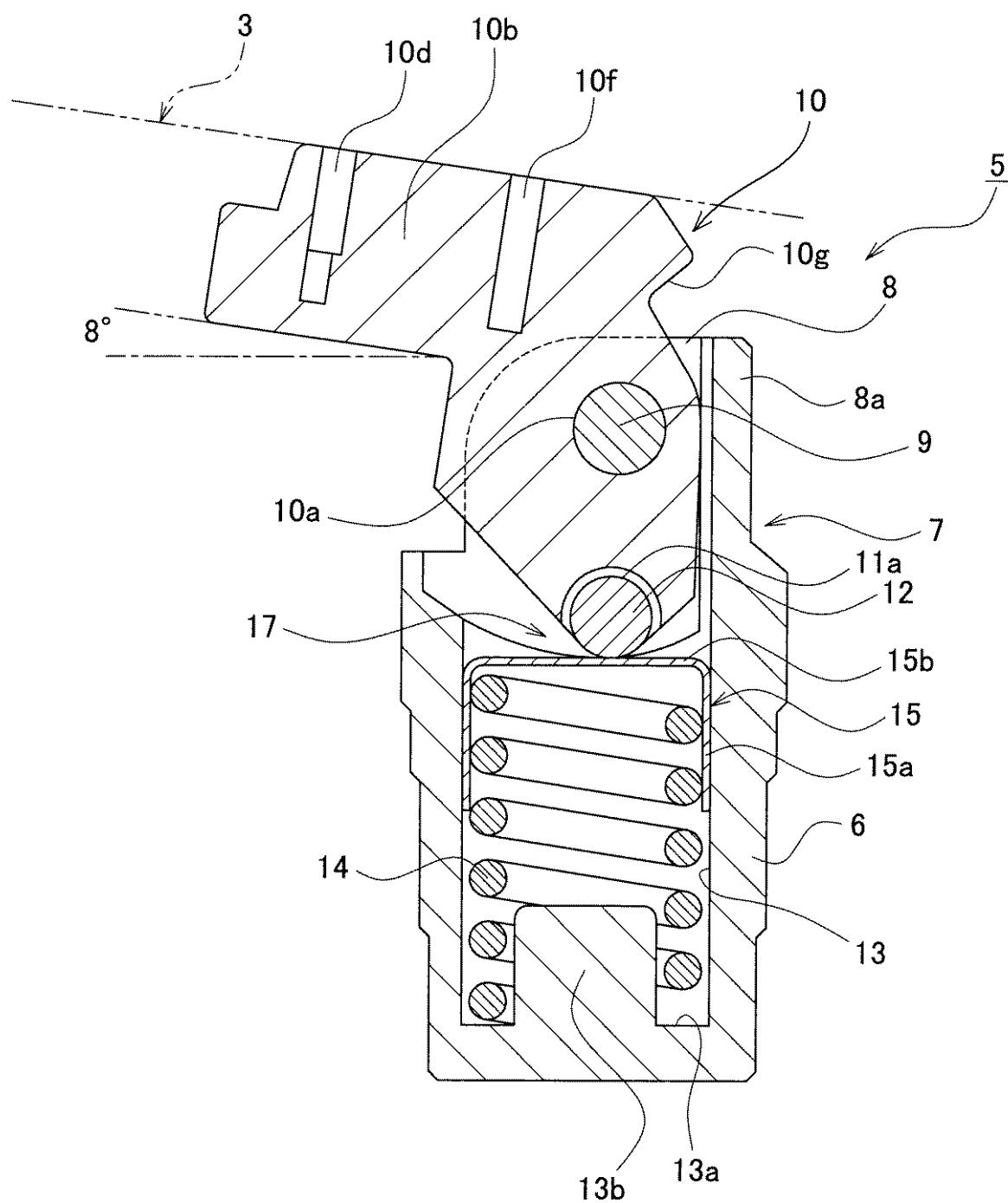
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】



【手続補正6】

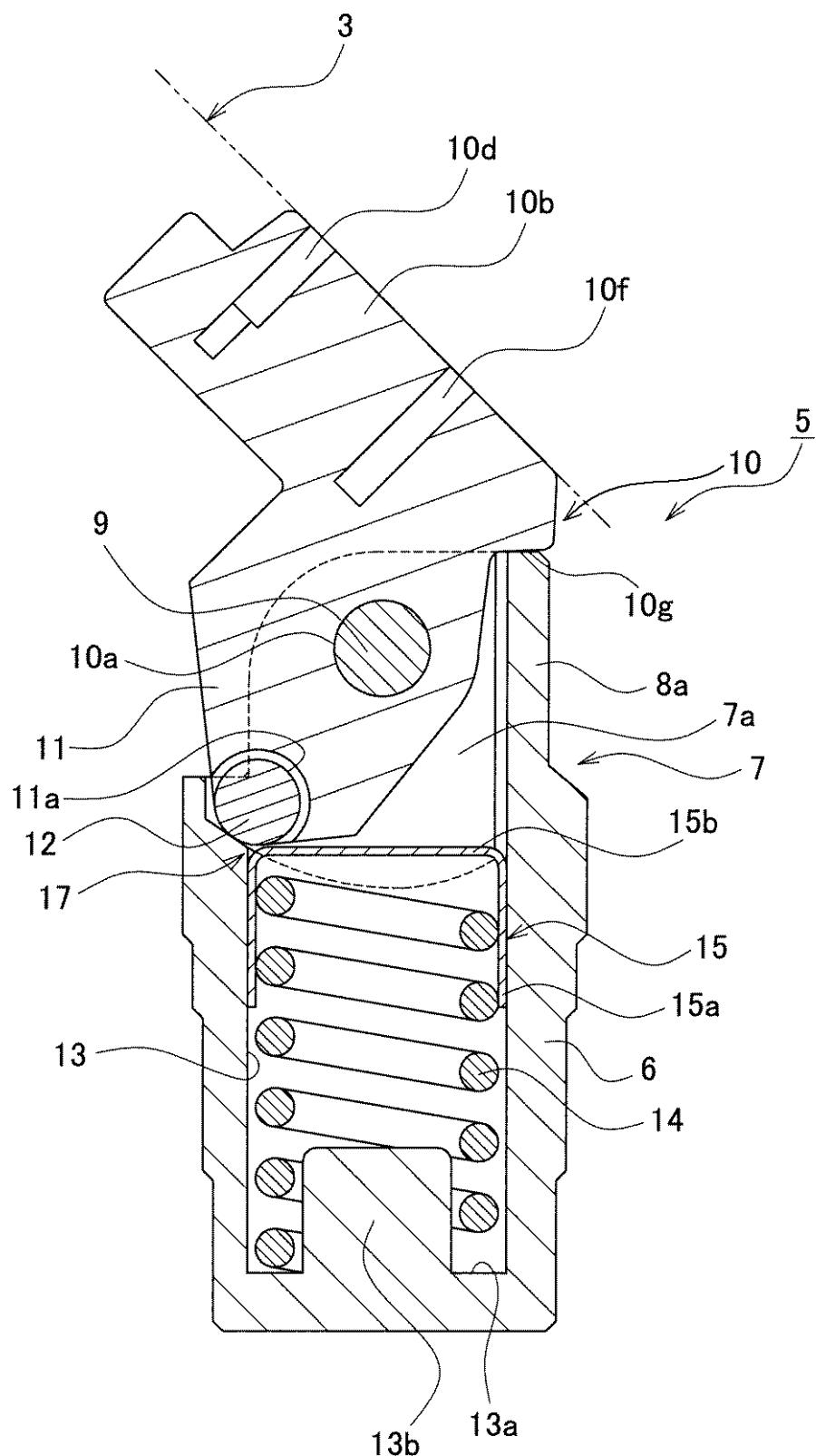
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】



【手続補正7】

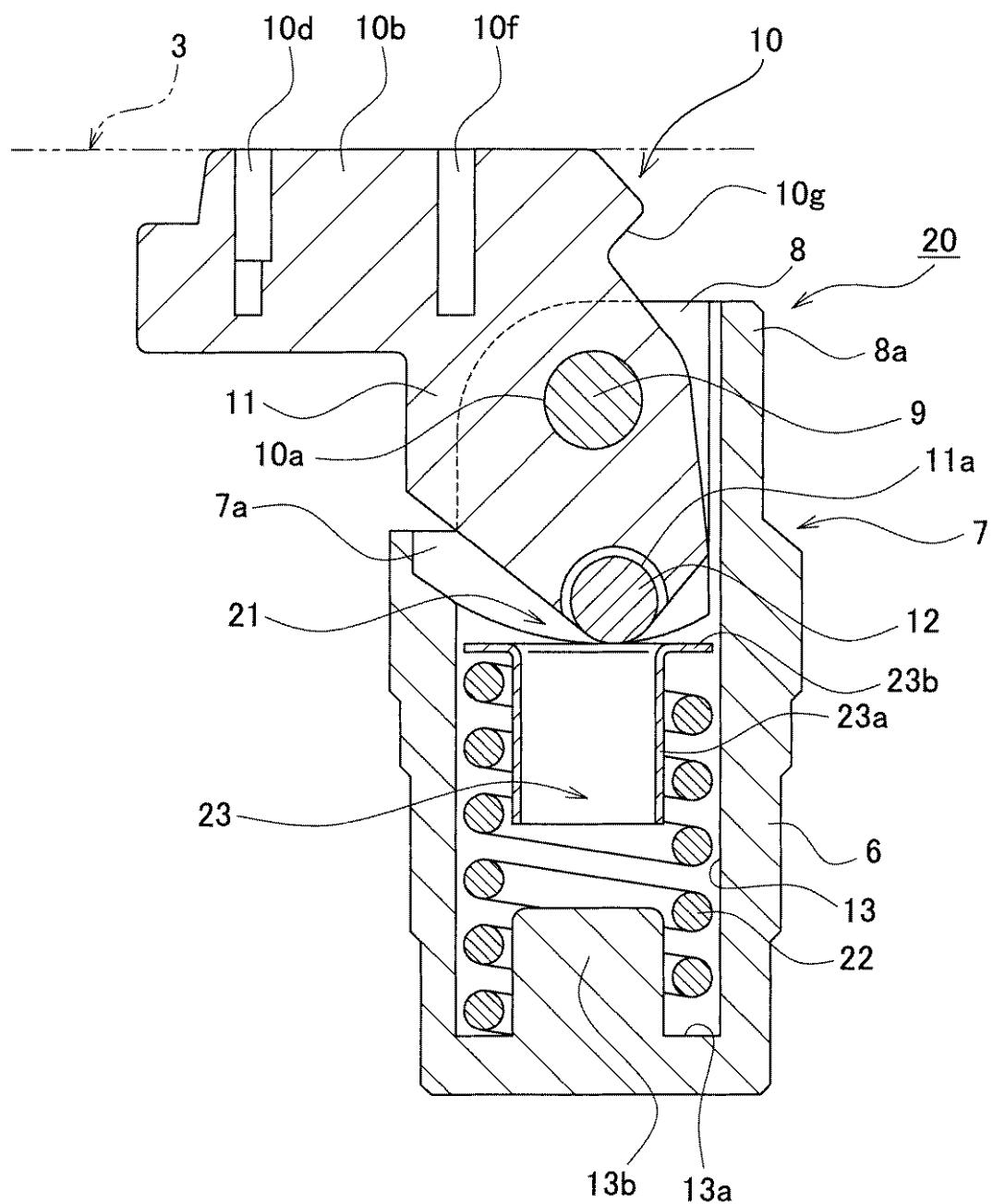
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】



【手続補正8】

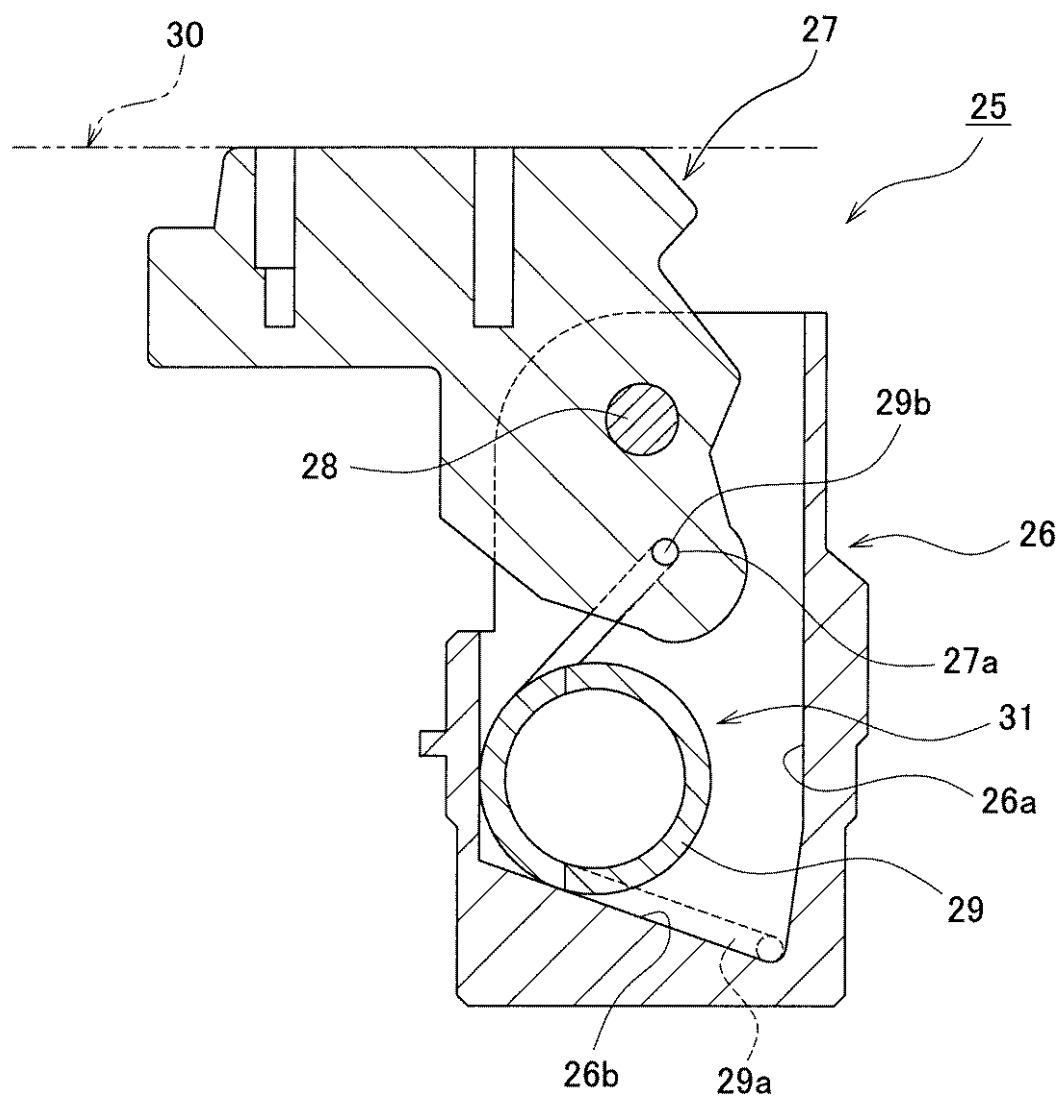
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 11】



【手続補正9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

